

鶴見区市場西中町まちづくり見学会

令和2年11月28日(土) 地域まちづくりのめざましい成果をあげておられる、鶴見区市場西中町に見学に行ってきました。市場西中町は東西を川崎市と鶴見川に、南北を京急線とJRに挟まれた平坦な地域です。中央に旧東海道が通り一里塚があります。

一戸建てがほとんどの住宅密集地で道も狭く、防災上このままでは良くないと、平成16年に「まちづくり協議会」を立ち上げ、「防災まちづくり計画」に取り組んできました。課題を地区の全員で共有し、解決し、多くの成果をあげてきました。先頭に立って取り組んでこられた事務局長の熊谷さんにお話を伺い、町の見学をさせていただきました。



道路の幅を広げるため、セットバックしてもらった所。道にはその表示があります。



防災のため、2か所に公園を作りました。公募で名前をつけ、子供たちの絵も採用。防災のため、かまどスツール。

東西の4本の通りには公募で名前をつけました。わかりやすいプレートがついています。



ゴミ置き場にはどれも番号がつけてあります。管理がしやすい。



この取り組みを始めてから建てた自治会館でお話を伺いました。



「防災まちづくり計画」は、「いえづくりのルール」「みちづくりのルール」「まちづくりのルール」の3本柱になっています。「いえづくり」では地震に強い家、火災に強い家を増やし、空家を減らすことを目標に、昭和56年以前に建てられた住宅の耐震診断を進め、必要に応じて耐震改修を促進します。ブロック塀は3段までとして上部はフェンスや植栽とすることなどを推進しています。そしてこれらの取り組みを逐次地区の住人に知らせて住人の共通認識になるようにしています。この活動は、令和2年防災功労者内閣総理大臣表彰を受賞しました。